

## 敵の金城鐵壁

蘇州河南岸陣地一角崩壊  
南側占據眼前に迫る！

(上海廿一日) 敵が上海方面防備の最終陣地として金城鐵壁を誇った蘇州河南岸の陣地の一角が廿一日朝未開始から我が壯烈果敢な敵前渡河隊で晚くも潰れ、我軍は凡ての困難を克服し更に敵を猛攻、彼の砲声夜に入りめども

(上海廿一日) 蘭田特軍隊は敵機を撃墜じり、深閑城内各部並一日午前十一時泥濘互物と敵の前進を容易に止められ、敵に織風的打撃を以て午後六時頃まで南側正面五キロ余りの要塞竹園並に無名部落を猛攻、部落を占領した。

(上海廿一日) 廿七日東蘇州河敵の猛攻を從横に撃散らし大。(上海廿一日) 廿七日東蘇州河

山西省の我軍、陽泉・辛興鎮を占領

(天津廿一日) 薩摩軍隊は天津破竹の勢いを以て陽泉を占領した。我が小林小林森木などの諸部隊は廿一日午前十時桑園東方十里の要地寧津を占領し大勝利を収めた。

陝西市恐怖政治現出

門市内は動搖混亂状態に陥り、逃亡者続出、支那人など

(香港廿一日) 我が海軍の金漢謀は厦门沖合に占領を果たし、敵度怪しこと見らるものは我が部隊は廿一日午前十時桑園東方十里の要地寧津を占領同地を確保した。

海軍司令官小林國昭中將

陸軍異動發表

九ヶ国条約会議

悲早くと損益！

悲早くと損益！

(教育廿一日) 九ヶ国条約会議は開会され、支那は開会直前に早くと追観的空氣に包まつてゐる。

全亞細亞民族青年大会

逆る熱弁を以て支那に警鐘乱打！

愛讀者

亞爾然丁時報社

中立以前渡河互取行、午後二時半には渡河互免了、張家宅完全に占領した。

第十八師長辰昌堂、馮玉祥に射殺される。

互換人で敵と対峙してゐた。○部隊は昨日の〇〇部隊渡河に呼應し、一日正午敵陣兩飛の中立以前渡河互取行、午後二時半には渡河互免了、張家宅完全に占領した。

中立以前渡河互取行、午後二時半には渡河互免了、張家宅完全に占領した。

中立以前渡河互取行、午後二時半には渡河互

## 対支本國標立確し

### 棉花・羊毛買付・食料品供給 取扱い應急策決定

（東京廿一日）北支対策に就ては各方面から

進言乃至対策が續出してゐるが、取扱い應急

対策として被弾せる北支農民の生活安定のた

め北支綿花・羊毛を買付け、それと交換的に現

在北支で最も販売しきれる食料品を供給する

事とあつてゐる。

而して此の應急策の具体化に就ては未だ早々

発令される筈の北支対策委員会に於て各自五

決定、速急実行に移すと同時に恒久対策とし

て此の應急策の具体化に就ては未だ早々

発令される筈の北支対策委員会に於て各自五

決定、速急実行に移すと同時に恒久対策とし

上	戰
海	線

上海

全軍の士氣敵を呑む

一個々々敵陣覆滅!!

蘇州河

敵前渡河

蘇州河

## 尖銳化する日英関係

奇怪極まる英國側の態度

(上海廿九日) 廿九日午后七時ゼス・イルド公園に於て言砲  
碑炸裂シ、英國兵一名即死、四名負傷シテ、その後の調  
査の結果、支那軍の発射せる砲弾不る事と判明シタ、

（東京世）海軍省發表に於ては英國海軍は昨九日午後八時半前後セス・ペイルド公園南方に於て日本軍の砲弾落下し、英國共一名死亡、二名負傷したつて我が方の射撃中止方を申出で来たが我が方の調査に依れば、我が陸戦隊は同日夕刻以後全然射撃を行はず、又陸軍側と曰沒後は砲撃して居らざること判明した。尚同日午後九時アマジヨツフルに砲弾落下せらる旨通知万りたるも同方面は陸軍陣地よりは射程外の由なり、

東京血日」セス不ルト公園商社では別項の如く沿岸各埠に於ける英兵射擊事件に因発表されたが同事件は愈々

## 支那軍總退却の結果

### △△南京政府の財政極度に逼迫

(東京三十日)三十日某所着憲報に於れば上海蘇原に於ける支那軍總退却の結果、南京政府を始め南支全般に亘る動搖甚しく、殊に上海の支那商人氣はガタ落ちの状態で軍車狼狽を極めてゐるので抗敵救援會では支那民衆に告ぐるの書を布告し「上海戰線の後退は予定の退却であつて全面的戦争には何らの影響なし」と躍進に本つて士氣、民心の動搖止と人気恢復に大意とあつて止ど人々が廿八日には上海を中心とするが廿八日には上海に文化救国会、学生救国会、新設し、その合作に依つて保衛大上海宣傳團にて計画し実行に入つたので手始めに大上

ガ第三艦隊完て、工部局消防  
ランナガ蘇州河の西藏橋梁を  
通過するに就き保護ありたし  
との依頼あつたので我が方は  
午後三時半、護衛のため艦載  
火雷艇を派遣、蘇州河を渡航  
したところ、北浙江路附近ニ  
帝の警備に當る英國守備兵は  
我が軍の行動を阻止するか如  
き態度を執るに至り一時は率

地に陥りついである支那側の手段を盡して乍三國の干涉説を企図する悪辣なる作戦たる疑惑が極めて濃厚である。終結するに英國側が無条件に日本軍との砲弾不りと独断して抗議を束つた態度は不可解千万で、かくの如き英國側の態度は支那の抗日を益々助長するものとして甚だ憤懣を感じてゐる。

その後、英國駐屯軍入モレット司令官が遺憾の意を表明して、英國軍当局は下法措置に付し、英國側に抗議を提出した。

東京世に英國最近の非友誼的不信行爲に我が國論議は漸次硬化せんとしてゐる折柄、山本保二郎主催者とする時局懇談会は廿日正午より日本工業俱樂部に於て開会、山本博二郎、津田信吾、小川平吉、大竹貢一、建川美次、清瀬一郎その他の貴賓、学者、実業家等百余名出席、文部省天王寺

東京廿日英國最近の事に就て説白不能の如く有り、國論は漸次硬化せんとしてゐる所折柄、山本悌二郎は主催者とする時局懇談会は廿日正午より日本工業俱樂部に於て開会、山本悌二郎、津田信吾、小川平吉、大竹賀一建川美次、清瀬一郎その他貴賓講員、学者、實業家等百余名出席、支那事變と日本との關係は種々意見の交換を行つた結果、今不寧變ニ燒る英同の態度は或多遺憾の点あり、甚だ了解に苦しきと做し、國にして速やかに反省せざれば對英國交斷絕の國民運動を開始する決議並びに左記宣言を満場一致可決し午後四時散会した。

宣言

〔アリーガ九日〕アリ駐在  
某支那高官は廿九日ア  
P特派員に対し九ヶ園条  
約会議に於て条件次第  
ご日本との和平交渉に  
應する用意ある旨を譲  
うし左々如く語つた、  
〔支那は九ヶ園会議に於て日本

せこめてゐる。

昌談　人と金つるに至れり、我、改めざる限り我が国民は断  
か國は日英同盟當時より、數十年の友誼關係を一機に  
旧譲を重んじて今日まで、茲に英國に対し重大なる譲讓  
に至れりを茲茲に至りだけ最立處すの外本手を遺憾とす  
との和平交渉に應ずる用意があらうもん種々傳之られるが如  
き日本側の和平条件三そのまゝ、  
、受諾することは出来ぬ、又  
那は條約の諸原則に立脚する  
公平ある平和を欲するとの所  
回答した、

2 de Noviembre de 1937

El "Argentin Ojyo"

Año XIV

No. 750 (6)

## 労働争議発生の春來る

### セントラル鉄道の罷業 遂に他の二鉄道に飛火

このところ国内には労働争議発生、勝るく物價は騰り大化して行く趨勢にあり、就中造船より進行中のセントラル、ゴルドバ鉄道從業員の同盟罷業は飛火してエントレリーオス鉄道及びノルデステ・アルヘンティノ鉄道にも拡大し、セントラルゴルドバ鉄道從業員は午前午後各三時間、エントリーオス及びノルデステアルヘンティノ鉄道は午前午後各一時間づゝ罷業を行つて居るた

政府は於てこれが調停に當面すべきアルバラード内相は曰下健康勝れず回部は待養中のこと、而保方面代表の調停具体案協議も纏りがつかず、依然労資互に各自の立場を堅持して譲歩の余地を示さない対立状態はあり、かくて罷業深刻化を各方面からアブ

かはれてゐるが、アスト大統領は幸り成行を蒙りせん日アルバラード内相は曰午後四時労働者の襲来に備へるべく警察多數労働者嚴重警戒は前記五名さ伊太利船フリンシベサ・シオバンナ号に乘船せしめ本国送還を行つた、茲に於てか愈々左官石工の罷業問題は紛糾、亜国労働聯盟に於ては

懇請に封しては頗る、三十日午後四時労働者の襲来に備へるべく警察多數労働者嚴重警戒は前記五名さ伊太利船フリンシベサ・シオバンナ号に乘船せしめ本国送還を行つた、茲に於てか愈々左官石工の罷業問題は紛糾、亜国労働聯盟に於ては

### パン値上げ防止に

#### 政府は大童

#### ラ・ブレンサ紙攻撃

パン値上げに對する政府の反対は、パン値上昇の原因として、小麥輸出禁止云ふが如き影響力ある手段を取る前に、然れども労資問題であります。また労資問題は、社会党は自下協議中であり、社会党は

パン値上昇の原因として、小麥輸出禁止云ふが如き影響力ある手段を取る前に、然れども労資問題は、社会党は

パン値上昇の原因として、小麥輸出禁止云ふが如き影響力ある手段を取る前に、然れども労資問題は、社会党は

パン値上昇の原因として、小麥輸出禁止云ふが如き影響力ある手段を取る前に、然れども労資問題は、社会党は

パン値上昇の原因として、小麥輸出禁止云ふが如き影響力ある手段を取る前に、然れども労資問題は、社会党は

パン値上昇の原因として、小麥輸出禁止云ふが如き影響力ある手段を取る前に、然れども労資問題は、社会党は

パン値上昇の原因として、小麥輸出禁止云ふが如き影響力ある手段を取る前に、然れども労資問題は、社会党は

**LIBRERIA HUNGARA de Alfonso Barna**  
LAVALLE 365 (U.T.31 - 4513)

**日本寫眞國報** (定價一冊)  
ケ十九巻より二十六巻まで新着、次

アの古代、近代美術を網羅した豪

美にエリ紹介、英仏語の説明あり

世界美術全集 (定價一冊)  
ケ十九巻より二十六巻まで新着、次

實在結婚青年時の純情

藤原氏の同胞慰安

**遠々差しのべる**

**出征軍人遺族援護の温い手**

コルドバ州サンフランシスコ市在留

田中榮三氏の美舉

今尔率变に於ける國  
覺ましき皇軍の進撃  
討する銃後國民の感激はそ  
の極に達し、果然内地外走  
通じて愛國の行進諸高らかに  
奏でられて国防献金とあり、  
或は慰問品、千人針の山をうく  
つて第一線の將兵の士氣を鼓舞  
するなど、同じく皇國を踏  
して戦つた曾つてク国露戰争  
當時とは比較にあらぬ程の熱  
誠を表示してゐる云はざる  
が、これにつれて当然国防獻  
金などと同様に銃後國民の熱  
誠を披拂しあげなければあら  
もには應召軍人遺族は対す  
る慰問救援であらう。この率  
は少一線將士に後顧の憂ひふ  
く活躍して貢ふためにもまた  
戦後に於ける社会問題とも密  
接な關係をもつてゐるため政  
府を始め民間率國体その他  
識者等により、今や母國に於  
ては應召軍人遺族救援の実  
を挙ぐるべく積極的に乗り出  
て来た折柄、こゝ在聖同胞の中  
にも今回率先して拵り出征  
軍人遺族救援のため金三百  
三十ペソを母國に送つた美談の  
持主がある。

(コルドバ通信)

百三十ペソを郷里佐賀県の其  
の筋の國保看守に送金した。  
(2) 同氏は曰露戰爭當時  
既に成年に達してゐて、いくら  
か社會を観る眼が出来てゐた  
せいか、當時より出征軍人遺族  
に対する政府を始め世間一般  
の援護が充分であかつた様に  
強く印象づけられたのであつ  
た。そこへ今度の率变が勃発  
して見ると矢張り心悔りに至  
り、出征兵士の遺族のこと、  
青軍の既す時代から持続して  
來た愛國の赤誠に変りある  
筈がなく、油然と湧き上つた  
熱誠が遂に今回の美談とあつ  
て表示されたものである。(コ  
ルドバ通信)

上半	二	三	四	五	六	七	八
下部	1	0	1	3	6	1	A

在亞薩茶同業組合主催の藤原  
義江氏独唱会は去る三十日午  
後五時より南部線アルサニ劇  
場にて開催されたが、入場者  
約五百名盛況であつた。独唱会  
は先立ち種々の映画上映あり、午  
後六時半より藤原氏は高橋氏、辻  
光子嬢交々の伴奏で歌謡の「アラ  
ビア」を軽々と歌つて聽かせ、多數同胞を慰安  
した。尚當田半蔵君例より辻嬢  
は花籠の寄贈あり、独唱会後又  
映画を上映、午後九時過ぎ散  
会した。

コルドバ州在留のアラビア女  
歌手は、藤原氏の「アラビア」を歌つて、  
翌日午前九時半より、高田逸喜氏、姫路  
九郎、松原十四郎等が帰國し、左  
より見送り人も多く近未来や  
かぶ船出であった。

二月二日にはブエノスに帰つ  
て参ります。

在留同胞によろしく、まだ十  
十ペソ應募し、更に自下募集  
中の愛國機械器具金として既  
に金八十ペソ様金をあしたが  
今回同氏は出征軍人遺族は  
に対する慰問救援金として金二  
百三十ペソを郷里佐賀県の其  
の筋の國保看守に送金した。

二月二日、南米歌行脚のイカ一番に至  
目ざして去る九月廿六日来亞  
トした我等のテナーフ原義江氏  
は、藤原氏の「アラビア」を歌つて、  
翌日午前九時半より、高田逸喜氏、姫路  
九郎、松原十四郎等が帰國し、左  
より見送り人も多く近未來や  
かぶ船出であった。

二月二日にはブエノスに帰つ  
て参ります。

在留同胞によろしく、まだ十  
十ペソ應募し、更に自下募集  
中の愛國機械器具金として既  
に金八十ペソ様金をあしたが  
今回同氏は出征軍人遺族は  
に対する慰問救援金として金二  
百三十ペソを郷里佐賀県の其  
の筋の國保看守に送金した。

二月二日にはブエノスに帰つ  
て参ります。

在留同胞によろしく、まだ十  
十ペソ應募し、更に自下募集  
中の愛國機械器具金として既  
に金八十ペソ様金をあしたが  
今回同氏は出征軍人遺族は  
に対する慰問救援金として金二  
百三十ペソを郷里佐賀県の其  
の筋の國保看守に送金した。

二月二日にはブエノスに帰つ  
て参ります。

在留同胞によろしく、まだ十  
十ペソ應募し、更に自下募集  
中の愛國機械器具金として既  
に金八十ペソ様金をあしたが  
今回同氏は出征軍人遺族は  
に対する慰問救援金として金二  
百三十ペソを郷里佐賀県の其  
の筋の國保看守に送金した。

二月二日にはブエノスに帰つ  
て参ります。

在留同胞によろしく、まだ十  
十ペソ應募し、更に自下募集  
中の愛國機械器具金として既  
に金八十ペソ様金をあしたが  
今回同氏は出征軍人遺族は  
に対する慰問救援金として金二  
百三十ペソを郷里佐賀県の其  
の筋の國保看守に送金した。

二月二日にはブエノスに帰つ  
て参ります。

在留同胞によろしく、まだ十  
十ペソ應募し、更に自下募集  
中の愛國機械器具金として既  
に金八十ペソ様金をあしたが  
今回同氏は出征軍人遺族は  
に対する慰問救援金として金二  
百三十ペソを郷里佐賀県の其  
の筋の國保看守に送金した。

二月二日にはブエノスに帰つ  
て参ります。

在留同胞によろしく、まだ十  
十ペソ應募し、更に自下募集  
中の愛國機械器具金として既  
に金八十ペソ様金をあしたが  
今回同氏は出征軍人遺族は  
に対する慰問救援金として金二  
百三十ペソを郷里佐賀県の其  
の筋の國保看守に送金した。

二月二日にはブエノスに帰つ  
て参ります。

2 de Noviembre de 1937

El "Argentin Dijo"

Año XIV No. 750 (A)

## 特輯

# 征旅へ勇躍・多彩な應召美談

支那事変は早くも三ヶ月余、我が擇ける皇軍の精銳は北支、中支、南支の空に陸に海に常々なる正義の旗を押し進め朝鮮に一躍而抜き夕べに一城を屠る壯烈無比の追撃戦を展開し、着々暴支脅懾の戰果を收めつゝあるが、この忠勇無双の精銳出征の幕には勤員令一下敢然大會社重役の椅子を、大学教授の肩正ベンと検索を、華やかお學生生活等を蹴つて意召、最前線に活躍してゐる幾多の多彩な出征者がゐる一方、或いは壯途につく息子を頭に自作の歌を高吟して激励せる老母あり、また生徒のどん底に嘴ぐ應召兵の家庭さがつちりと守つてゐる近隣者あり、全国津々浦々はかうした伝ぐる人の應召出征の美談は、卷いてゐる、この感激、この心も、意から湧き上る興奮こと正義日本名正世界に賛揚する原動力だ。

## 大三菱の御曹子

たが無念、岩崎彦弥太氏即歸郷

兩町会員、  
郷里、婦人  
会員等に申  
詫ふいと察  
人を通じて  
一言の挨拶  
は出でてしまつた。

## 歩兵伍長として應召

財界一方の雄、大三菱佐賀貢  
資本社副社長、五菱銀行同董  
工業各取締、岩崎彦弥太氏も

召集令狀一下、一步兵伍長と  
つて岩崎久弥男の嫡子、五菱合

出でしまつた。

東大だけでも百四名

「大學の教授と学生

## 大三菱の御曹子

大三菱の御曹子

五菱銀行同董

召集令狀一下、一步兵伍長と  
つて岩崎久弥男の嫡子、五菱合

出でしまつた。

東大だけでも百四名

「大學の教授と学生

大三菱の御曹子

五菱銀行同董

召集令狀一下、一步兵伍長と  
つて岩崎久弥男の嫡子、五菱合

出でしまつた。

東大だけでも百四名

「大學の教授と学生

大三菱の御曹子

五菱銀行同董

召集令狀一下、一步兵伍長と  
つて岩崎久弥男の嫡子、五菱合

出でしまつた。

東大だけでも百四名

「大學の教授と学生

大三菱の御曹子

五菱銀行同董

## 兄弟大勢揃出でつ

一衆から五人の應召軍人を出した金町民は、福岡県宗少ぶき業の一家がある。福岡県宗郷郡岬村鐘崎漢業八尋庄太郎(五)さんら一家がそれで、実兄弟五人が揃つて矢線に立つたのが二カ榮誉は鎌崎金町民は我が町の誇りだと喜びに誇り立てる。一番最初に出征したのは四男の藤軍〇〇兵作君去る〇月〇日召集令狀を受けて直に應召、回下北支で活躍中。

六人兄弟のうち  
五人まで應召す  
軍人揃ひの譽の一家

そろばん(三五)  
將棋の駒(五〇)

藏田書店

CHACO

LEANDRO N. ALEM 474

グラビアンシング

サービス部隊

日本入りモノを雇

入れて居ります

白鶴・菊正宗(百合)

安東商店

中川商店

リオ・デ・ジャネイロ

十一月九日入港、全十六日出帆

マニラ丸

市内アーレス街三〇

廿八日出帆

があり、次いで五男の庄六君が應召して〇〇海軍に入隊中である。続いて今度は三男冬年君が九月〇日召集令狀を受て〇〇兵に入隊、その翌日更に長男丈助氏、二男正男君に同じく、男六人兄弟のうち上から五人まで出征し今まで眼やかであつた同家を今は働き手となりては父君庄太郎氏と末子辰七郎(五)君のたゞ二人、彼は母ます(五)さん外女小供ばかりであります。尚ほ庄太郎氏は當りであります。尚ほ庄太郎氏は當ての日敵戦争に近親から今尔率變に出ていた人は全部で十人を数えろといふに驚つては、藤々譽れ高き家である。

が應召して〇〇海軍に入隊

中である。続いて今度は三男

冬年君が九月〇日召集令狀を受て〇〇兵に入隊、その翌日更に長男丈助氏、二男正男君に同じく、男六人兄弟のうち上から五人まで出征し今まで眼やかであつた同家を今は働き手となりては父君庄太郎氏と末子辰七郎(五)君のたゞ二人、彼は母ます(五)さん外女小供ばかりであります。尚ほ庄太郎氏は當ての日敵戦争に近親から今尔率變に出ていた人は全部で十人を数えろといふに驚つては、藤々譽れ高き家である。

が應召して〇〇海軍に入隊

中である。続いて今度は三男

冬年君が九月〇日召集令狀を受て〇〇兵に入隊、その翌日更に長男丈助氏、二男正男君に同じく、男六人兄弟のうち上から五人まで出征し今まで眼やかであつた同家を今は働き手となりては父君庄太郎氏と末子辰七